

令和元年第1回 地域密着運営推進会議 議事録

事業所名	ルミエール 地域密着型通所介護
開催日時	令和元年5月27日(月) 17時45分～18時25分
開催場所	ルミエール
参加者	地域住民代表 3名 利用者代表者 1名 行政職員 3名 地域包括支援センター 1名 事業所職員 3名
会議内容	1 開会挨拶 2 委員紹介 3 ルミエール事業方針説明 4 ルミエール事業報告 5 ヒヤリハット、クレーム、事故報告 6 運営委員からの評価・質問 7 閉会の挨拶

詳細報告

1、開会挨拶

ルミエール 地域密着型通所介護 谷口奉行

2、委員紹介

順不同にて委員を紹介

3、ルミエール事業方針説明

コンセプト

『できなかつたことができる様に』

- ・在宅での生活継続を目標とする。
- ・機能訓練を基本軸に
- ・週何回来ても飽きない内容を考える。
- ・無理のない範囲でしっかり運動を行える。
- ・要支援の方でもご自宅で入浴が困難な方は入浴できる。

『地域に根付いた介護を』

- ・芦屋市の南側を基盤に置き、気兼ねなくご利用できるよう。
- ・地域や高浜町ライフサポートステーションにある他事業との交流を図る
就労Aの方の受け入れ。クラーク高校から学生の受け入れ等。
- ・要支援者が健康で、ご自宅での生活にゆとりを持てるよう。

4、ルミエール事業報告

- ①契約者数 ②月平均利用者数 ③地域別 ④介護度 ⑤男女比
⑥曜日別利用者数

5、ヒヤリハット、クレーム、事故報告

ヒヤリハット事例報告

- ・持参物の忘れ物、利用後の忘れ物が数回見受けられました。
- ・帰宅時段差でのふらつき、利用中の立ち眩み、むせ込み等も確認されています。
- ・脱衣場で椅子からの立ち上がり時に膝をつき座り込まれるも大事にはいतरなかつた。

6 運営委員からの評価・質問

Q 午前と午後の入浴は必ずあるのか？

A 個々のニーズによって入浴されるか、されないかがあります。

Q 1回でどれくらいの人数に入浴が対応可能か？

A 平均6~7名ですが性別、介護度によって変わっていきます。

Q 利用者に対して入浴希望はどのくらいいるか？

A ほぼ半数強の希望者がいます。

Q 定員は？

A 午前・午後各18名となっております。

Q 機能訓練のよそには無い売りは？

A 荷重が細かく調整できるトレーニングマシンを導入し利用者にあった運動を多職種連携でみながら、主にPTが細かく監修をおこなっています。

Q 従業員は足りているのか？ボランティア等は頼まないのか？

A 今のところ必要性は無いが、試験的に就労支援の受け入れもしています。

Q 市営住宅からはどれくらい利用者はきていますか？

A 9名来られています。

Q 送迎はどうしているのか？例えば近くなら歩いて来所される方もいるのでは？

A 介護支援専門員と相談して決めていきます。

Q (報告書の)フォーマットを定期巡回と同じにしてほしい。

A 次回からご希望に添えるよう検討します。

Q (行政職員への質問) 芦屋市から行政として当然報告をするにあたってのこういう書式でこういう内容でというのがあるのか?逆に言えば自主的にお任せするのではなくて行政が当然噛んでくるのだから、行政として最低限こういうフォーマットで報告しなさいというのがあってしかるべきではないか?

われわれに聞かせるというよりも行政としての報告は義務付けられているのか?

A (行政職員が回答) 報告内容というよりはこういう会議をおこなうということが義務づけられている

Q (行政職員への質問) 会議をしろということであってこういう内容についてこういうふうに報告しなさいというところまでは指導はされてないのでは?

A (行政職員が回答) 厳密には規定はない、新規開設の施設から会議の内容についての問い合わせもある。基本的なものがあれば確かに説明しやすいと思う。

Q 開催時間を早くして欲しい

A ご希望に添えるよう検討します。

Q 利用者からの意見もぜひ聞きたい。

A (利用者代表が回答) 昨年12月から利用していますが、楽しく3時間あっという間に過ぎていきます。脚も良くなっていて歩く時の杖も今はいらなくなりました。

【意見】

この施設は障害の方やわんにゃんセラピーとかあっていろんなことができ、きれいなので高齢者の施設だけじゃなくていろんなひとたちがかかわったものを作っていただければと思います。

7 閉会の挨拶

ルミエール 地域密着型通所介護 谷口奉行

